



今回は3年生と1年生の道徳科の授業について紹介します。



「生まれてきてくれてありがとう—助産師からのメッセージ」 D-19 生命の尊さ

「出産」というと「母親の努力のたまもの」というイメージがあるかもしれませんが、もちろん出産が無事に成功するかは、母親の頑張りによるところが大きいのですが、生まれてくる赤ちゃんもまた、母親と同じくらい頑張っ、命がけて生まれてくるのです。この母と子の共同作業を助ける仕事が「助産師」です。

今回の3年生の道徳科の授業ではこの助産師さんのメッセージを読み、「命」について考えました。

【「命」について考えたこと】

「命」は多くの人に影響を与えることのできる最大のものだと思うので「命」について多くの方が再認識する必要があると思った。

生まれてくるときは、母も生まれてくる子も命がけて、医師や助産師さんなどのサポートをしてくれる人たちも全力を尽くしていることが分かりました。そのくらい「命」は大切なんだな思いました。

自分が今、生きているのも命がなかったら生きていないし、助産師さんやお母さんのおかげだと思いました。この世に誕生できたことが幸せだし、ed 奇跡だと思いました。



命はできたときからいろいろな人からの支えがあって成り立っているのだなと思えました。今後も命を大事に生きていこうと思います。

生まれて今、元気に過ごせていることがすごい奇跡だと思うから、いろいろな人や周りの物にもたくさん感謝しなければいけないと思った。

命が当たり前のように思えるのは周りの人に大切に思われ、守られているからだと思う。だからこそ身近な人への感謝の気持ちは忘れてはいけないし、命を大切にしなければいけないと思った。

楽寿号に乗って C-12 社会参画、公共の精神



ボランティア活動に初めて参加した中学1年生の作文を読み、ボランティア活動の良さや参加するときに大切にしたいことについて考えました。

ボランティア活動はやりがいを感じられるので、相手だけでなく自分も笑顔になれると思った。

人のために何かをするときには、勇気がいるけれども、やってみると相手も喜んでくれるんだなと思った。

最初はめんどくさいと思っていたけれど、ボランティア活動は心が温まるし、喜んでくれる人がいるのでいいものだなと思った。

私は年賀状ボランティアに参加するので、心を込めて年賀状を書きたい。

何かものをあげることも、気持ちを込めて活動に取り組むことが大事だなと思った。



11月20日 花鉢ボランティアに参加しました！
～生徒の感想を紹介します～

予想よりも喜んでいただけて良かったです。この活動を通して、人が喜んでくれるうれしさを知れました。

実際に花鉢を届けてみて、「ありがとう」と言ってもらえて嬉しかったです。

実際に参加して普段話す機会の少ないお年寄り・地域の方と話せて楽しかった。

残念ながら直接渡すことはできなかったけど、手紙と花鉢で笑顔になってもらいたい。

おばあちゃんたちがすごく喜んでくれて自分もすごく嬉しかったです。来年も参加したい。

これからもぜひ積極的に様々なボランティア活動に参加して下さいね!!